

=====

# 美高からトータル・サティスファクションの 実現を目指して

=====校長室より

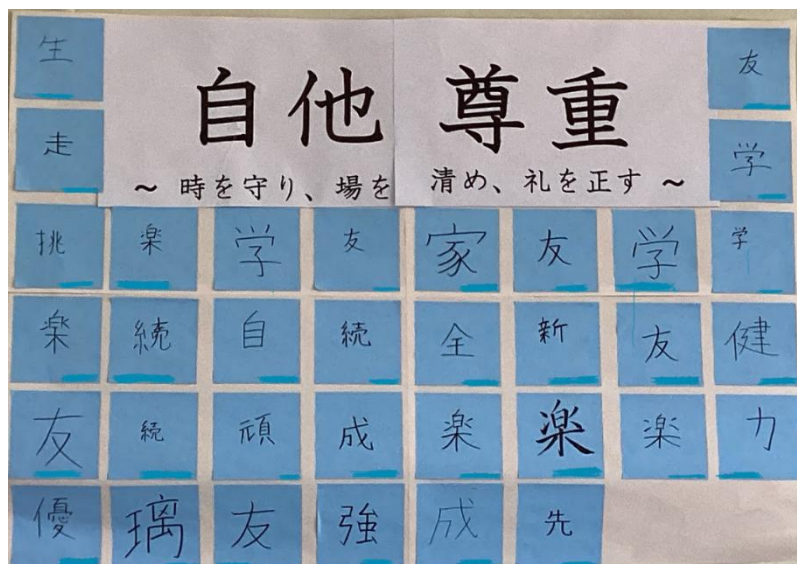
## 第2号「自他尊重」

前回お伝えした始業式での生徒への講話内容には、もう一つ本校の原理原則として大切なものがあります。それは、「自他へのリスペクト」。日本サッカー協会のロゴには RESPECT という文字と訳語として「大切に想うこと」という日本語が掲げられています。サッカー協会は、リスペクトの本質を、常に全力を尽くしてプレーすること、そしてそれはフェアプレーの原点としています。

生徒の皆さんに問いかけたのは、まず「他人を大切にすること」はできているかということ。様々な特性をもった集団の中で、身体的にも精神的にも相手を大切に想う言動ができているか、ということ。学校のルールは、こうした集団の中で、相手も自分も傷つけない安全な環境で学ぶこと、すべての生徒に公平で、学校に関わるすべての人が楽しく活動できることを意図して作られています。ここから考えると、「自分を大切にすること」は自分の好き勝手をするのではないことを伝え、全力を尽くせる自分を大切にすることの大前提には、ともに学ぶ「他者の想いを大切にすること」であると伝えていきます。

脳科学的な知識も加えました。具体的には、最も多くのエネルギー消費量を必要とする脳を痛めつける行為である、スマホの意味のない長時間使用は、「時間つぶし」どころではなく、「人生つぶし」になってしまほど、自分を思いきり傷つけていることになること伝えました。そして、自分に否定的な言葉を使わないこと。人間の脳は主語を認識しないということは有名な話ですが、その上で、他者の悪口を口にすることは、自分に対してその否定的な言葉を投げつけていることになることも伝えていきます。

「自他尊重」。



1 クラス分しかご紹介できませんが、これは現在本校の第一学年の各教室に貼られているものです。それぞれのクラスの一人一人が大切に想うことを表した漢字一文字が、学年スローガンである「自他尊重～時を守り、場を清め、礼を正す～」という言葉縁取るように掲げられています。生徒一人一人が、自身の大切なものと他者の大切なものを常に視野に入れながら、トータル・サティスファクションを実現してくれると、今、私は信じています。